



「－明治 21 年の佐竹永湖とその周辺－松戸神社神楽殿の絵画と修復展」について

明治 21 年建立の松戸神社神楽殿は、老朽化により平成 26 年に建替えが行われました。その際、旧神楽殿天井絵及び杉戸絵の保存修復事業が行われ、新しい神楽殿に設置されました。

天井絵及び杉戸絵は、平成 28 年 7 月に松戸市指定文化財（有形文化財）として指定いたしました。天井絵は 36 面に描かれ、杉戸絵は 4 面 1 図となっています。いずれも伝統的な江戸絵画の画風を継承した格調高い絵画であり、奉納者の銘が記された歴史資料となっています。明治中期の美術界を語る美術的にも歴史的にも貴重な資料です。

本展覧会では、これらの絵画作品を、その修復事業とともにご紹介いたします。

- 1 会 期 平成 29 年 1 月 21 日（土）～3 月 5 日（日） 月曜日休館
- 2 会 場 松戸市戸定歴史館
- 3 開館時間 9 時 30 分から 17 時まで（入館は 16 時 30 分まで）
- 4 観 覧 料 一般 150 円（団体 120 円・共通券 240 円）
高校・大学生 100 円（団体 80 円・共通券 160 円）
中学生以下無料
- 5 主 催 松戸市教育委員会
松戸神社神楽殿絵画修復実行委員会
- 6 会期中のイベント

① 講演会

会場：松戸市民会館 301 会議室

(1) 2 月 5 日（日）14 時～15 時 30 分

「佐竹永湖－文晁派の伝道者として」

講師：塩谷純氏（東京文化財研究所文化財情報資料部
近・現代視覚芸術研究室長）

(2) 2 月 11 日（土・祝）14 時～15 時 30 分

「松戸神社神楽殿絵画の保存と修復」



講師：荒井経氏（東京藝術大学大学院保存修復日本画研究室准教授）

定員：各回 70 名

参加費：無料

申込み：往復ハガキ（応募多数の場合は抽選）

② ギャラリートーク「松戸神社神楽殿絵画の保存修復」

会場：松戸市戸定歴史館展示室

(1) 1月22日（日）、(2) 2月4日（土）

(3) 2月18日（土）、(4) 3月4日（土） 各日とも14時より約30分

講師：(1) (2) 三浦功美子氏（伝世舎）

(3) 久下有貴氏（東京藝術大学大学院保存修復日本画研究室）

(4) 及川崇氏（おいかわ美術修復）

申込み：不要。参加には展覧会観覧券が必要です。

③ ワークショップ「杉板に絵を描いてみよう～日本画～」

会場：松戸市戸定歴史館、松戸市文化ホール活動室

(1) 1月26日（木）、(2) 2月9日（木） 各日とも9時30分より午後1時

講師：泉晴行氏（日本画家）

定員：各回15人

参加費：600円（材料代・当日支払い）

申込み：往復ハガキ（応募多数の場合は抽選）

④ 松戸宿まち歩きツアー

(1) 2月21日（火）10時～11時30分

(2) 2月21日（火）13時～14時30分

(3) 2月28日（火）10時～11時30分

(4) 2月28日（火）13時～14時30分

講師：八嶋正典氏（郷土史研究家）

定員：各回先着10人

参加費：100円（資料代・当日支払い）

申込み：電話で松戸探検隊ひみつ堂へ（電話 047-727-7825）

【問い合わせ先】

生涯学習部 社会教育課 ☎047-366-7463

—明治 21 年の佐竹永湖とその周辺—

松戸神社神楽殿の絵画と修復展・関係資料

■展覧会にいたる経緯

平成 25 年度 松戸神社旧神楽殿より絵画取り外し、旧神楽殿解体。

平成 26～27 年度 絵画保存修復事業実施（実行委員会）。

委託先：東京藝術大学大学院保存修復日本画研究室

監修：同上准教授・荒井経氏

助成：（公財）東日本鉄道文化財団（地方文化支援事業）

平成 27 年度 新築神楽殿に絵画設置、竣工奉祝祭開催（9 月 26 日）。

平成 28 年度 神楽殿絵画、松戸市指定文化財に指定（7 月 28 日）。

■展覧会の見どころ

- 1、松戸市指定文化財となった松戸神社神楽殿杉戸絵・格天井絵の全容が修復後初めて一般に公開される貴重な機会です。また、普段は知ることの少ない絵画の保存修復事業についてもわかりやすくご紹介いたします。
- 2、佐竹永湖を中心に、その師佐竹永海を祖とする佐竹派一門の画家たちの作品を、永海の師である谷文晁を起点として併せてご紹介いたします。明治、大正、昭和初期には高い名声を得ていたにもかかわらず、戦後は歴史の狭間に埋もれてしまった佐竹派一門の画業をひも解く数少ない展覧会です。特に、佐竹永湖、佐竹永陵をとりあげる展覧会としては戦後初の規模といえます。
- 3、謎の画家「錦谿」。松戸神社神楽殿格天井絵を描いたもう 1 人の画家については格天井絵の画中に書き込まれた「錦谿 朝比奈寛通」という名前以外あきらかではありません。しかし、その繊細な花の筆致は画家の正体という謎と共に、鑑賞者を惹きつけるに十分なものです。

■出品予定作品・資料：57 点

内訳

| | | | | | |
|------------------------|--|----------|----------|----------|----------|
| 松戸神社神楽殿の作品 （初公開）8 点 | 杉戸絵 1 点 （佐竹永湖 1 点）（4 面 1 図） 格天井絵 7 点 （佐竹永湖 4 点、 錦谿 3 点） | | | | |
| 関連作品 16 点 | 谷文晁 1 点 | 佐竹永海 4 点 | 佐竹永湖 5 点 | 佐竹永邨 2 点 | 佐竹永陵 4 点 |
| 関連資料 33 点 | 書簡、書籍、印章、松戸神社関連写真、絵葉書など | | | | |

※この他、神楽殿格天井絵全 36 点の実物大パネルも展示します。

■監修：塩谷純氏（東京文化財研究所 文化財情報資料部 近・現代視覚芸術研究室長）

■松戸神社神楽殿の保存修復について

松戸神社神楽殿格天井絵は、明治 21 (1888) 年の松戸神社旧神楽殿建立と同時に描かれたものです。老朽化により平成 26 年に神楽殿の建て替えが行われた際、松戸神社神楽殿絵画修復実行委員会（註 1）が組織され、東京藝術大学大学院保存修復日本画研究室（荒井経准教授）（註 2）の監修により、杉戸絵と格天井絵の保存修復事業が行われました。

平成 27 年秋に、新神楽殿に修復後の杉戸絵と格天井絵が設置されました。

（註 1）松戸神社神楽殿絵画修復実行委員会

平成 26 年 5 月、松戸神社神楽殿の改築にあたり建築物に残された絵画等の文化財を適切な方法によって次世代に継承し、併せて地域文化の発展に資するため、松戸神社関係者、松戸市教育委員会、東日本旅客鉄道株式会社東京支社等の会員をもって設立されました。

（註 2）東京藝術大学大学院保存修復日本画研究室

文化財保存の分野で指導的な役割を担う人材を育成するための高度な大学院教育（修士課程・博士課程後期）が行われています。日本・東洋の古典絵画の模写や修復を通して伝統文化を継承するカリキュラムと現代的な感性や豊かな表現力を磨くカリキュラムの両立によって、作家、研究者、修復士などとして活躍できる多彩な人材育成が行なわれています。（同大 HP より）

格天井絵は細い材を寄せた板に描かれており、経年による劣化への対策が必要でした。

・神楽殿格天井絵修復前



カビ、虫損により、板の内部に空洞ができ、絵の表面にも剥落の危険がありました。

・神楽殿格天井絵修復作業



裏面には補強材の接着や樹脂の充填を行い、絵の表面はクリーニング後、剥落止めの処置を施しました。

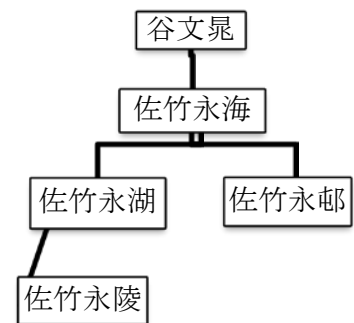
■佐竹派について

本展覧会では、松戸神社神楽殿杉戸絵・格天井絵を描いた画家、佐竹永湖を中心として、佐竹派一門の師弟三代にも焦点をあてています。神楽殿のみならず、松戸神社拝殿には永海と若き日の永湖が描いた格天井絵や永湖・永邨の手による献額4点が残されています。また市内にも多くの佐竹派関連作品が残っているなど、松戸と佐竹派の縁は深いものといえるでしょう。

佐竹派は、画聖とも称される江戸時代後期の巨匠、谷文晁の弟子であった佐竹永海にはじまります。

さらに、佐竹永海の弟子であった佐竹永湖と佐竹永邨は師家の娘婿としてそれぞれ佐竹姓を受け継ぎました。

そして佐竹永湖の弟子であった佐竹永陵も佐竹家の娘婿となり、ここに三代にわたって続く画家の一派が形成されたのです。
※各人の業績等につきましては別紙の作家略歴をご覧ください。



■佐竹派と松戸神社の関わり

| | |
|-----------|--|
| 1863/文久3 | 秋、永海・永湖（泰峨）松戸神社拝殿格天井絵制作 |
| 1874/明治7 | 8月、永邨、松戸神社拝殿献額「花籠図」制作 |
| 1875/明治8 | 永湖、松戸神社拝殿献額「日本武尊之図」制作 |
| 1888/明治21 | 秋頃、永湖、松戸神社拝殿格天井絵の一部、神楽殿杉戸絵・格天井絵制作（神楽殿格天井絵の36点中18点は錦谿作） |
| 1895/明治28 | ◇10月、松本楓湖、松戸神社幣殿献額「神武天皇東征図」制作 |

◇松本楓湖は、佐竹永湖と同時代に佐竹永海の門下で学んだことがあり、後年まで親交があった画家。

■謎の画家「錦谿」



錦谿「木瓜(部分)」松戸神社蔵
(今回は未出品)

松戸神社神楽殿格天井絵を描いたもう1人の画家については、その作品中の落款から名前がわかっています。しかし、この「錦谿 朝比奈寛通」と読むことが出来る署名の人物について記した美術事典などの資料は見つからず、その正体については謎のままです。
本展覧会でその名が広く紹介されることで、この知られざる画家についての研究が進むことが期待されています。



錦谿「花柘榴」松戸神社蔵(出品作)

■作家略歴

◆谷文晁◆

1763(宝暦13)年、江戸に生まれる。江戸後期の画家。寛政5年、洋風画法を取り入れた「公余探勝図」(東京国立博物館所蔵)を描いたほか、個性的な肖像画も能くする。諸派を折衷し「南北合体」の画法を目指す。門人には佐竹永海のほか、立原杏所、渡辺華山等がいる。

1841(天保11)年、江戸で逝去。享年79。

◆佐竹永海◆

1803(享保3)年、会津に生まれる。家業は藩の御用をつとめる蒔絵師であったという。

18歳~20歳頃、郷里を離れ、谷文晁の画塾写山楼に入門。

1838(天保9)年正月、彦根藩井伊家の御用絵師となる。

1855(安政2)年頃、法橋に叙される。1858(安政5)年頃までに、法眼に叙される。

1863(文久3)年秋、永湖(泰峨)と共に松戸神社拝殿格天井絵制作。

1867(慶応3)年、松戸神社手水舎「十二支図」を制作か。

1874(明治4)年12月24日、逝去。享年72。

◆佐竹永湖◆

1835(天保6)年12月、江戸に生まれる。父は富家の金方を務めていた。

1845(弘化2)年頃、11歳で鳥取藩絵師沖一峨に入門。泰峨と号した。

1857(安政4)年頃、永海に入門。

1863(文久3)年秋、永海と共に松戸神社拝殿格天井絵制作。

1875(明治8)年、松戸神社に奉額(「日本武尊之図」)

1882(明治15)年、第1回内国絵画共進会で「瀑布」が銅印受賞。

1888(明治21)年秋頃、松戸神社拝殿格天井絵の一部、神楽殿格天井絵・杉戸絵を制作。

1909(明治42)年7月24日、日本橋矢ノ倉の自宅で逝去。享年74。

◆佐竹永邨◆

1840(天保11)年、福島白河に生まれる。名は信、字は千畝、通称竹松。旧姓本間。

初め、白河の画家、馬弓碧潭(まゆみ・へきたん)と蒲生羅漢(がもう・らかん)に師事。その後、両師の紹介により佐竹永海に入門。後に永海の次女たけと結婚して佐竹姓を名乗り、分家した。

1874(明治7)年8月、松戸神社拝殿献額「花籠図」を描く。

1922(大正11)年8月7日、逝去。享年83。

◆佐竹永陵◆

1872(明治5)年5月、東京浅草に生まれる。本名銀十郎。旧姓黒田。外祖父正木龍塘に書を学ぶ。

1887(明治20)年頃、佐竹永湖に師事。

1890(明治23)年10月、日本美術協会絵画展覧会で褒状二等を受賞。

1899(明治32)年7月10日、永湖の長女松と婚姻。佐竹家の婿養子となる。

1937(昭和12)年1月8日、駒込の自宅にて逝去。享年64。

明治21年の佐竹永湖とその周辺

松戸神社神楽殿の 絵画と修復展

会期

平成29年

1月21日[土]～3月5日[日] 休館日：月曜日

開館時間 9:30～17:00(入館16:30まで)

会場

松戸市戸定歴史館

〒271-0092 松戸市松戸714-1(JR常磐線松戸駅東口下車徒歩約10分)

観覧料

| 区分 | 券種 | 個別券 | | 戸定邸との共通券 | |
|--------|----|------|------|----------|------|
| | | 個人 | 団体 | 個人 | 団体 |
| 一般 | | 150円 | 120円 | 240円 | 200円 |
| 高校・大学生 | | 100円 | 80円 | 160円 | 120円 |
| 小・中学生 | | 無 料 | | | |

●団体は20人以上

●次の方は無料です。

- ・松戸市内在住の身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人とその介護者
- ・松戸市内在住の70歳以上の人 ・中学生以下

問い合わせ

松戸市教育委員会 社会教育課 美術館準備室
☎047-366-7463

松戸市デジタル美術館

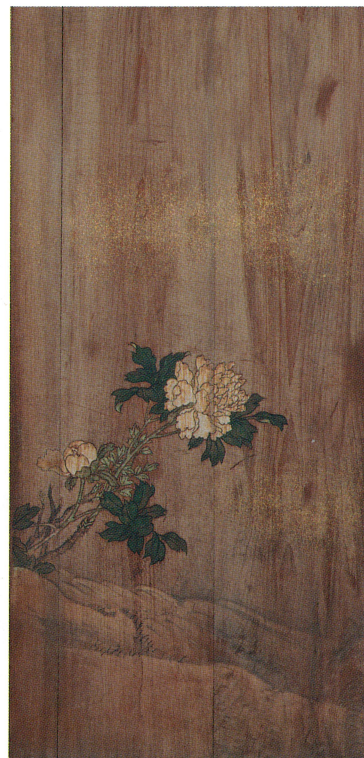
検索



佐竹永湖「笹に犬」(天井絵) 松戸神社所蔵



錦繪「菊」(天井絵) 松戸神社所蔵



佐竹永湖「獅子に牡丹」(杉戸絵) 松戸神社所蔵

主催 松戸市教育委員会
松戸神社神楽殿絵画修復実行委員会

後援 東京藝術大学
JOBAN アートライン協議会
公益財団法人東日本鉄道文化財団



助成 自治総合センター
公益財団法人朝日新聞文化財団

協力 東京藝術大学大学院保存修復日本画研究室
伝世舎 おいかわ美術修復

広報協力 東日本旅客鉄道株式会社東京支社
新京成電鉄株式会社 北総鉄道株式会社 流鉄株式会社



松戸駅にほど近い松戸神社（寛永3年創建）の神楽殿は、老朽化により平成26年に建て替えが行なわれました。その際、格天井36面と杉戸4面に描かれた動植物絵画の保存修復事業が行なわれ、平成27年秋、新築された神楽殿に設置されました。

これらの絵画は明治21（1888）年の旧神楽殿建立時に描かれたものです。その1枚1枚には、「永湖」と「錦谿」というふたりの画家の落款と58名もの奉納者銘が記されています。永湖とは、幕末から明治にかけて活躍した日本画家の佐竹永湖（1835－1909）であり、錦谿のプロフィールは不詳です。

奉納者は旧松戸町の住民です。これらの絵画は、水戸街道の宿場と江戸川の水運による交通の要衝として江戸時代から栄えてきたこの町で、当時の住民たちが松戸神社神楽殿の建立に際して力を結集したことを物語る資料でもあります。

今回の保存修復事業は、東京藝術大学大学院保存修復日本画研究室の荒井経准教授の監修のもとに、絵画と木製文化財の各修復家の協同により慎重に進められ、制作当初の画風を損なうことなく後世に永く伝えることが可能となりました。また、これらの絵画は平成28年7月、松戸市指定文化財として指定されました。

この展覧会は、松戸神社と旧松戸町の人々が130年もの年月を大切に受け継いできたこれらの絵画を、その保存修復事業とともに初めてご紹介するものです。さらに、個人のお宅等に伝わる佐竹永湖やその師・佐竹永海を祖とする佐竹派一門の画家たちの作品を、永海の師である谷文晁を起点に併せて展覧いたします。



佐竹永海「鍾馗図」個人蔵



佐竹永海「花鳥図」田中四郎右衛門氏所蔵



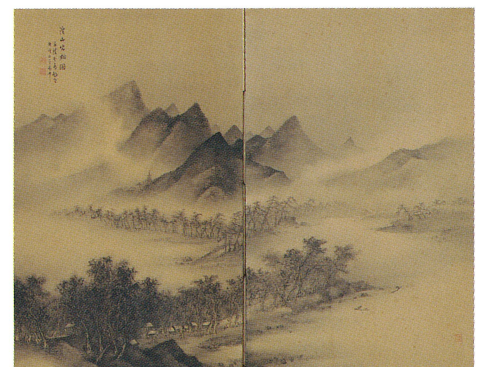
錦谿「秋明菊」（天井絵）松戸神社所蔵



佐竹永湖「天岩戸」個人蔵



佐竹永陵「鍾馗之図」個人蔵



佐竹永陵「溪山晩烟図」個人蔵

会期中のイベント

1. 講演会（定員各回70人、参加費無料）

会場：松戸市民会館 301会議室
（松戸市松戸1389-1 JR常磐線松戸駅東口より徒歩約7分 電話047-368-1237）
（1）2月5日（日）午後2時～3時30分
「佐竹永湖一文晁派の伝道者として」
講師：塩谷純氏（東京文化財研究所文化財情報資料部近・現代視覚芸術研究室長）
（2）2月11日（土・祝）午後2時～3時30分
「松戸神社神楽殿絵画の保存と修復」
講師：荒井経氏（東京藝術大学大学院保存修復日本画研究室 准教授）

申込方法：

1月13日（金）[必着] で、往復ハガキに、イベント名・希望日（1）か（2）・郵便番号・住所・応募者全員の氏名（ふりがな）・電話番号・返信用宛名を記入して〒271-8588 松戸市根本356 松戸市教育委員会社会教育課美術館準備室へ。

往復ハガキ1枚につき2人までの申し込みとなります。応募多数の場合は抽選。定員に満たない場合は1月16日（月）から電話で受け付け。

2. ギャラリートーク

「松戸神社神楽殿絵画の保存修復」

会場：松戸市戸定歴史館展示室
日時：（1）1月22日（日）、（2）2月4日（土）、（3）2月18日（土）、（4）3月4日（土）
各日とも午後2時より約30分
講師：（1）三浦功美子氏（伝世舎）
（2）久下有貴氏（東京藝術大学大学院保存修復日本画研究室）
（3）及川崇氏（おいかわ美術修復）
事前申込み不要。参加には観覧券が必要です。

3. ワークショップ

「杉板に絵を描いてみよう～日本画～」

日時：（1）1月26日（木）、（2）2月9日（木）
各日とも午前9時30分～午後1時
会場：松戸市戸定歴史館、松戸市文化ホール活動室（松戸市松戸1307-1松戸ビルヂング4階）
対象：松戸市内在住在勤者
材料代：600円（当日支払い）
内容：松戸神社神楽殿の絵画と修復展を松戸市戸定歴史館で観覧してから松戸市文化ホールに移動して、天井絵と杉戸絵が描かれた明治21年当時と同じ材料の杉板に画を描きます。

講師：泉晴行氏（日本画家）

定員：各回15人

申込方法：

1月11日（水）[必着] で、往復ハガキに、イベント名・希望日（1）か（2）・郵便番号・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号・返信用宛名を記入して、〒271-0092松戸市松戸1307-1松戸ビルヂング4階 生涯学習推進課（電話047-367-7810）へ。

往復ハガキ1枚につき1イベント（本人のみ）の申し込みとなります。応募多数の場合は抽選。定員に満たない場合は1月12日（木）から電話で受け付け。会場に駐車場はありません。

4. 松戸宿まち歩きツアー

松戸神社周辺を散策しながら、明治21年当時の旧松戸町に思いを馳せてみましょう。

日時：（1）2月21日（火）午前10時～11時30分
（2）2月21日（火）午後1時～2時30分
（3）2月28日（火）午前10時～11時30分
（4）2月28日（火）午後1時～2時30分
定員：各回先着10人
講師：八嶋正典氏（郷土史研究家）
申込方法：電話で松戸探検隊ひみつ堂へ（電話047-727-7825）

資料代：100円（当日支払い）

※小雨決行。歩きやすい服装でご参加ください。

